

日刊 動労千葉

87. 8. 20
No. 2633

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

— 権力-革マル連合による — 不当逮捕策動 許すな!

4・7デッチ アゲ事件

すべての組合員のみなさん!

八月十七日、千葉県警は、またもや土屋梓による「4・7デッチ上げ事件」をもちだし、幕張支部滝口支部長、永島君に対し「任意出頭」攻撃をしかけてきた。これは明らかに動労千葉のスト権投票の前進にケチつけをし、なんとか妨害しようとするために行ってきた権力革マル連合の恐怖のあらわれである。

スト権一票投票を妨害する ために、またもや「出頭攻撃」

権力革マル連合による
スト権投票破壊を許すな!

権力は、コロビ屋土屋と革マル松崎が動労千葉破壊を狙った「4・7デッチ上げ告訴」からすでに四カ月以上が経過したにもかかわらず、余りにもデッチ上げが明らかであるが故に、幕張支部滝口・永島両君を今だ逮捕できないままになっている。

そもそも「4・7デッチ上げ事件」は、「4・1」移行後も「中江必勝」に向け全力でたたかっていた動労千葉への破壊策動として発生した。その後「5・17三里塚」の十日後に一回目の「任意出頭」、スト権一票投票方針を決定した「7・18臨時委員会」の八日前に二回目の「任意出頭」と続き、そして今回のスト権一票投票初日の十七日の「出頭呼び出し」となるのである。つまり、「4・7デッチ上げ」とそれ以降の出頭攻撃は、不屈に前進する動労千葉を破壊する

ために権力と革マルが結託して行っているのである。

スト権一〇〇%確立で反撃を

いまや、出向攻撃は、国鉄労働者の怒りによつて壁にぶちあたつてしまつてゐる。出向が「紛争案件」へと発展しつつあるのだ。そして動労千葉の「出向にはストも辞さずたかかう」方針が国鉄労働者の魂をとらえ、発火点になろうとしている。現在、なんとかして動労千葉を傷つけ、出向反対のたたかいをおさえこもうとする権力革マルの意図がありありではないか。われわれは、一〇〇%デッチ上げの「4・7事件」を許さない。ましてやそれを理由に逮捕などということは絶対に許さない。スト権一〇〇%の確立で、権力革マル連合に総反撃を!

反戦・反核広島行動に参加!

八月四・六日にかけて「原水禁世界大会」「ヒロシマ、ナガサキを繰り返すな! 8・6全国人民共闘集会」「広島反戦全国集会」に参加してきた。

今日、核戦争の危機が深まるなか、今こそ真に反戦・平和の道を追求する人民のたたかいで、中曽根を打倒することが問われている。

八月四日、原水禁開会総会に出席後、動労西日本を中心に広島のたたかう仲間と交流会。

五日、原水禁分科会に出席。六日は、「全国人民共闘集会」が原爆資料館前で

開催され、夕方には「広島反戦全国集会」が行われた。

とりわけ、闘いの過中で病いに倒れた小西のぶごさんや被爆者として闘い続ける人達の苦闘を怒りとして何がなんでも反戦・反核・平和をかちとらなければならないと痛感した。

「8・6ヒロシマ」三里塚、新関西、沖繩と連続した闘いを全力で取り組み、日帝・中曽根の新たな戦争体制構築と対決し、勝利しなくてはならないと確認した。



族の強固な団結 組織破壊攻撃を粉砕せよ!